サプライチェーン強化に向けた
セキュリティ対策評価制度

経済産業省は、サプライチェーンの重要性を踏まえ、企業が取り組むべきセキュリティ対策を示し、その実施状況を見える化する仕組みの検討を進めています。今後は、2026年度の制度開始を目指し、実証事業や制度の運営基盤整備、利用促進のための施策を進めていく予定です。

★ レベル1
★★ レベル2
基本的な対策をしている

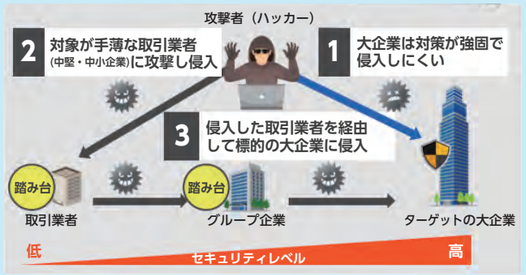
★★★ レベル3
現場レベルや部分的なレベルでのセキュリティ対策が実践されている

★★★★ レベル4
自社に合わせたセキュリティ対策の組織的・継続的な実施・改善（PDCA）がなされている

★★★★★ レベル5
高度な継続運用体制ありサイバー空間上のリスクを適宜適切に把握し、合理的な対策を実施、継続的改善がなされている

なぜセキュリティ対策評価制度が必要なのか？

中堅・中小企業が狙われる時代！
サイバー攻撃の入り口にされている



サプライチェーン攻撃とは、標的の企業に直接攻撃するのではなく、セキュリティ対策が不十分な外部の協力会社や取引先を経由して、間接的に侵入を試みるサイバー攻撃の一種です。

大手企業や官公庁は、取引先のセキュリティ対策状況を厳しくチェックしたい！

経済産業省は**2026年度**から**セキュリティ対策評価制度**を開始予定

まずはレベル★3の取得を目指しましょう！

すべてのサプライチェーン企業が最低限取り組むべき、基本的なセキュリティ対策です。システムの防御や組織体制の整備など、26 項目の対策が定められています。
まずは★3 の取得を目指し、大塚商会では優先順位をつけて段階的に対策を進めることをおすすめしています。

NIST	★3 要求事項（26 項目）	優先度	優先対策
統治	セキュリティ推進活動を担当する部署、役員および従業員を決定し、責任および権限を割り当てること。	B	ルールの整備
	守秘義務のルールを策定し、順守させること。	B	ルールの整備
	自社のセキュリティ対応方針を策定し、周知すること。	B	ルールの整備
	取引先と自社とのビジネスまたはシステム上の関係を把握すること。	B	ルールの整備
	自社の機密情報の取り扱い方法を、共有先との間で明確にすること。	B	ルールの整備
識別	セキュリティインシデント発生時の他社との役割および責任を明確にすること。	B	ルールの整備
	情報機器、OSおよびソフトウェアに関する情報を把握すること。	A	IT資産管理
	ネットワークに関する情報を把握するための仕組みを整備すること。	B	ルールの整備
	自社の機密情報を扱う外部情報サービスを管理すること。	B	ルールの整備
	機密区分に応じた情報の管理ルールを定め、それに基づく管理を行うこと。	B	ルールの整備
防御	ユーザーIDの発行・変更・削除の手続きを定めること。	A	認証
	管理者IDの発行・変更・削除の手続きを定めること。	A	認証
	システムおよび情報の重要度に応じて認証の強度および実装方法を決定すること。	A	認証
	パソコンおよびスマートデバイスにはロック制御を行うこと。	A	IT資産管理
	パスワード設定に関するルールを定め、周知すること。	B	ルールの整備
	パスワードの管理に関するルールを定め、周知すること。	B	ルールの整備
	アクセス権の管理ルールを定めること。	A	認証
	セキュリティインシデント発生時の対応に関する教育・訓練を行うこと。	B	ルールの整備
	適切なバックアップを行うこと。	A	バックアップ
	情報機器、OSおよびソフトウェアの安全な構成を確立し、維持すること。	A	IT資産管理
	情報機器、OSおよびソフトウェアへのセキュリティパッチおよびアップデートの適用に係る手続きを定めること。	A	IT資産管理
	システムをマルウェア感染から保護すること。	A	ウイルス対策
	ネットワークを適切に分離し、境界部分を防護すること。	A	UTM+SOC
検知	ネットワーク上の適切な場所でネットワーク接続およびデータ転送を監視すること。	A	UTM+SOC
対応	セキュリティインシデントへの対応手順、対応体制等を定めること。	B	ルールの整備
復旧	事業上重要なシステムについて、事業継続の要件に沿う復旧に必要な準備を行うこと。	A	バックアップ

大塚商会

参加費無料 / 事前申込制

開始間近！

セキュリティ対策評価制度、準備はできていますか？

学ぶ　見る　相談する

制度対応の進め方が1日で分かる

2026年度末開始予定のセキュリティ対策評価制度。
「何から始めればよいのか分からない」を解決し、
必要な対策やソリューションを学びながら、
自社の対応方針を具体化できるイベントです。

ご来場特典
ご来場のお客様にもれなく
素敵なプレゼント！

開催概要

日時　2026年12月18日（金）［ 12:45～17:30 ］（受付開始／ 12:30～）

会場　**株式会社大塚商会 本社ビル 3階**
東京都千代田区飯田橋2-18-4

交通のご案内

JR総武線「飯田橋駅」東口　徒歩6分
JR総武線「水道橋駅」西口　徒歩6分
地下鉄三田線「水道橋駅」A2出口　徒歩8分
地下鉄東西線/有楽町線/南北線/大江戸線「飯田橋駅」A2出口　徒歩7分
地下鉄東西線/半蔵門線/新宿線「九段下駅」5出口　徒歩7分
地下鉄半蔵門線/新宿線/三田線「神保町駅」A2出口　徒歩8分

※ご来場の際は電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。





お申し込み方法　下記ホームページよりお申し込みください。
お申し込み締め切り　2026年12月15日（火）17:00まで
受講URLおよび受講証は、当選されたお客様にE-mailにてご案内します。

【お申し込みの注意事項】
- セミナーを複数人で受講される場合は、人数分のお申し込みが必要となります。
- 一定数以上のお申し込みがあった場合は、早期にお申し込みを締め切らせていただく場合がございます。
- 同業または競合他社様からのお申し込みは、お断りさせていただく場合がございます。

詳細・お申し込みはホームページから！
https://www.otsuka-shokai.co.jp/event/region/26/1218security/

お問い合わせ　株式会社大塚商会　MMプロモーション部　セキュリティグループ
E-mail : sec_event@otsuka-shokai.co.jp　営業時間 / 9:00～17:30（土・日・祝を除く）

ワークショップ

気になる商材を15分でサクッとご紹介！
商材の特長や活用ポイントを15分で
コンパクトにご紹介。事前申し込みなしで、
気になる商材を短時間でチェックできます！

13:15 ▼ 13:30
「Akerun」ワークショップ
株式会社フォトシンス 様

14:00 ▼ 14:15
「eValue V Air mini」ワークショップ
株式会社大塚商会　ドキュメントソリューション課

14:45 ▼ 15:00
「SPC Trust Chain」ワークショップ
株式会社ソースポッド 様

15:30 ▼ 15:45
「eラーニング」ワークショップ
株式会社大塚商会　情報漏洩セキュリティ課

16:15 ▼ 16:30
「AppCheck」ワークショップ
santec Japan株式会社 様



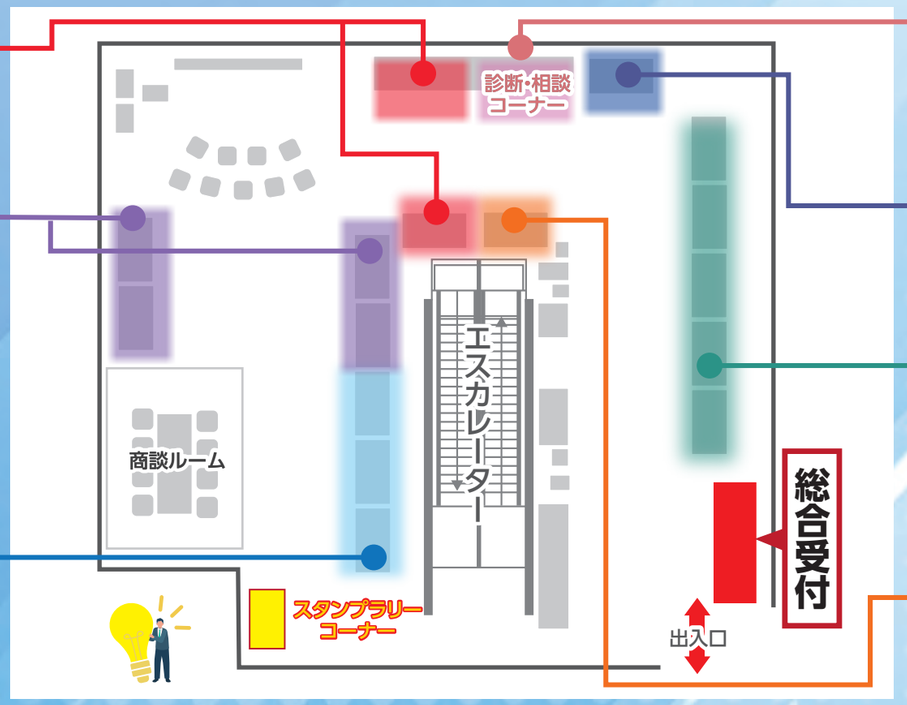
展示のご案内

■ 展示内容は予告なく変更する場合がございます。

組織的対策
- SPC Trust Chain
- ガイドライン対応サポートアカデミー

サイバー攻撃の防御
- ワンコイン・ビジネスセキュリティサービス2
- らくらくNGAV for Deep Instinct
- らくらくEDR
- らくらくEDRプレミア
- らくらくサーバーセキュリティ One
- TrendAI Vision One
- CrowdStrike Falcon
- AppCheck Pro

インシデントへの対応・復旧
- たよれーる Veeam Backup
- Wasabiクラウドストレージサービス
- らくらくクラウドバックアップ 2



診断・相談コーナー
アセスメントでセキュリティ対策状況を診断・可視化。診断結果を基に、必要な対策や今後の進め方をご相談いただけます。

Microsoft 365
- Microsoft Intune
- Microsoft Entra ID
- Microsoft Defender for Business

リスクの特定
- SKYSEA Client View
- LANSCOPE エンドポイントマネージャー
- たよれーる HENNGE One
- たよれーる デバイスマネジメントサービス
- らくらくMDM

サイバー攻撃の検知
- FortiGate
- たよれーる Catoリミテッド
- Sophos

セミナーのご案内

■ 会社名・団体名、製品名などは各社または、各団体の商標、もしくは登録商標です。

A01 12:45 ▼ 13:15 SCS評価制度の運用に向けた準備と心構え
特別講演 special

セキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）構築の背景とともに、同制度に関して現時点で決まっていることと今後発信される情報を公式見解に基づきお知らせします。さらに、★取得に向けた具体的な対策ステップも解説します。



独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
SCS評価制度 指定委員会 委員
情報セキュリティ教育事業者連絡会（ISEPA）代表　持田 啓司 氏

A02 13:30 ▼ 14:00 SCS評価制度対策セミナー ～セキュリティ対策で取引先から選ばれる企業になるために～

2026年度末開始予定の経済産業省「セキュリティ対策評価制度（SCS評価制度）」ではサプライチェーン企業のセキュリティ対策の指標が提示されています。本セミナーでは、制度の最新方針や対応にあたり最低限押さえるべき点を解説、運用の負担を軽減し、より効果的な活用を支援するセキュリティサービスをご紹介します。



株式会社大塚商会 セキュリティグループ　寺本 美紀

A03 14:15 ▼ 14:45 まずはここから！ SCS評価制度開始に備えて見直したい「エンドポイントセキュリティ」

「SCS評価制度対応に向けたPCやサーバーの対策は、ウイルス対策ソフトを導入しているから大丈夫」……そう思っていませんか？ 制度開始に備えて、まず見直していただきたいのが「エンドポイントセキュリティ」です。本セミナーでは、制度対応はもちろん、ランサムウェアをはじめとするサイバー攻撃被害に遭わないために今実施いただきたい対策を分かりやすく解説します。



株式会社大塚商会 セキュリティグループ　村田 朋美

A04 15:00 ▼ 15:30 ネットワークセキュリティ強化で実現するセキュリティ対策評価制度★3対応

セキュリティ対策評価制度への対応を検討されている企業様向けに、制度の概要や★3取得に必要な要件を分かりやすく解説します。特に、ログの取得・保管やレポート作成など、★3で求められる具体的な対策内容についてご紹介します。また、制度対応だけでなく、ランサムウェア対策や不正通信対策、AI利用拡大に伴う新たなリスクへの備えなど、今後のセキュリティ強化を見据えたネットワークセキュリティ対策についてもご紹介します。FortiGateをはじめとした各種ソリューションを例に、評価制度対応と将来的なセキュリティ強化を両立するためのポイントをお伝えします。



株式会社大塚商会 セキュリティグループ　石井 茉里麻

A05 15:45 ▼ 16:15 セキュリティ対策評価制度が求める「復旧力」とは？ランサムウェアに負けないバックアップ運用

サイバー攻撃対策は「防ぐ」だけでなく、業務を「元に戻す仕組み」を作ることが重要になっています。セキュリティ対策評価制度でも「復旧計画」が重要視されており、被害後の事業継続能力が評価対象となります。本セミナーでは、近年の被害事例を交えながら、復旧力を高めるためのバックアップ運用の考え方を解説します。



株式会社大塚商会
インフラ・ネットワークグループ　荒井 美咲

A06 16:30 ▼ 17:00 成長を止めないための「攻め」と「守り」サプライチェーン時代に求められる「つながるセキュリティ」とは
特別講演 special

取引先や委託先を含めてセキュリティが評価される時代となり、サプライチェーン全体を見据えたセキュリティ対策の重要性が高まっています。IPAの「情報セキュリティ 10大脅威」においても、サプライチェーンや委託先を狙った攻撃は継続して上位に挙げられており、多くの企業にとって無視できないリスクとなっています。こうした状況において重要なのは、個別製品の導入ではなく、組織全体を俯瞰した継続的なリスク管理と全体最適の視点です。本セミナーでは、サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度を切り口に、ID・デバイス・データ・AIを横断した統合セキュリティの考え方と、その実現に向けた具体的なアプローチをMicrosoft 365を例にご紹介します。



日本マイクロソフト株式会社
コーポレートソリューション事業本部 セキュリティ本部
シニアパートナーソリューションセールスマネージャー　清水 利幸 氏